

仕事も子育ても音楽活動も夫婦で協力しています。



今野夫婦の仕事と生活を見てみましょう！
長男は6歳です！



今野 博之 さん

★プロフィール★

7歳から38歳まで石狩市で過ごし、高校で合唱部に入部したことをきっかけに声楽を始める。大学時代は学生オペラに没頭し、卒業後はプロ歌手に。現在も多数の音楽団体に所属し、音楽活動を行う。平成27年から帯広に単身赴任し、平成29年5月から厚田支所地域おこし協力隊に就任。現在は厚田区で単身赴任中。



今野 くる美 さん

★プロフィール★

札幌大谷短期大学音楽科卒業後、ウィーンへ留学。オーストリアウィーン国立音楽大学ピアノ演奏科卒業。ピアノを教える傍ら演奏家としてソロリサイタルや声楽、他楽器との共演、オペラ、合唱のピアニストとして活動。施設やシルバー向けマンション、子供の為のコンサートなども行っている。

今野 博之 さん

仕事の内容、やりがい

石狩市役所厚田支所で地域おこし協力隊として、厚田区内の地域力の充実と強化を図るための取り組みをしています。最長3年の任期後も厚田に定住し、起業することを目指しており、現在は、地域を知り、溶け込むことを第一に、起業・定住の形の選択肢をひとつでも増やすための活動をしています。

音楽経験、舞台経験を最大限に活かして初めて自分がここにきた意義が生まれる、と考えておりますので、とにかく毎日地域を盛り上げる企画を考えています。厚田を見て、歩いて「あ！ここであんな事をやったら皆さん喜ぶんじゃないか？」と閃いた時、実現の為に乗り越えなければならない壁が見えた時、未経験の物事に会った時、ワクワクします。まあ、つまり毎日です！（笑）

大変だと感じる時

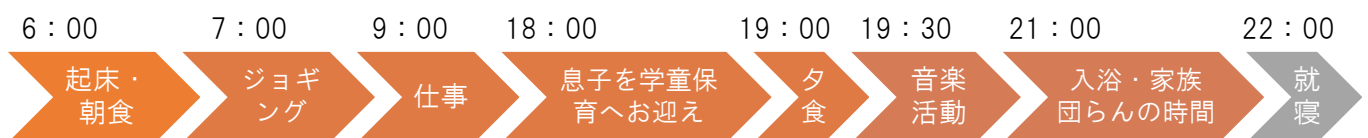
単身赴任といっても市内なので簡単に家族に会えるようになりましたし、仕事と家庭、すべてが楽しいのですが、やりたい事、挑戦したい事、会いたい人、見たいもの、聞きたいものが多すぎて、時間が足りない事ですね…幸せな悩みだと思います。

喜びを感じる時

子育てに関して一番嬉しいのは、自分が作った、妻が作ったに関係なく、息子がいっぱいごはんを食べてくれたときですね。

息子は春から小学校に入学し、友達にも恵まれたようで、嬉しい限りです。でも、ちょっと寂しいんですけどね…（笑）

ある一日のスケジュール



仕事が終わってから妻子の住む家に帰る日について紹介します。最近は朝のジョギングの時間がとても充実しています。海を眺め、かもめやうぐいすの鳴き声を聞きながら走ることは、とても気持ちが良いです。仕事が終わってから音楽活動をする日や、ミニバレーをする日があります。本当は息子を早く寝かせたいのですが、妻の仕事の都合もあり、なかなか難しいです。自分が真っ先に寝てしまう事も多いです（笑）

プライベートの過ごし方

家族で出かけることが多いです。あとは家族全員運動をすることが好きなので、外でキャッチボールやサッカーもよくします。最近は息子の小学校のPTAミニバレーに参加をして体を動かしています。音楽活動については、クラシックに限らず、音楽全般が好きなので、様々なジャンルを歌います。これから厚田を中心に活動していき、「石狩市で歌といえば今野！」と言って戴けるよう、頑張ります！

仕事と家庭生活の両立で工夫していること

単身赴任なのですが、それをマイナスに捉えないで「ひとりの時間」として有効活用をして、心のバランスを保っています。料理が好きで、厚田に住んでからは農作物・海産物・山菜など、新鮮で良質な食材がたくさん手に入るようになったので、平日の一人の夜に未経験の料理に挑戦し、うまく行ったら週末などに家族に振る舞います。

この仕事特有のことだと思いますが、お祭りやスポーツなどのイベント参加が非常に多いので、そんな時は家族も呼んで、一緒に楽しみながら業務に臨めたら最高ですね。

奥様からのコメント

単身赴任生活が続いているけれど、家に帰って来た時や、私の忙しい時にお願いしなくてもおいしい料理を作ってくれたりとても助かっています。子どもの事は、いつも全力で関わってくれて息子がいつも「パパ大好き！！」と言える父親でいてくれることは、嬉しいことです。意見のぶつかり合いは少なくないけれど、その度に、夫婦としての成長は出来ているように感じています。自分自身、夫婦、家族として私たちの最高の形を一緒に見つけて行きたいと思っています。

同じような立場の男性へのメッセージ

偉そうな事は言えませんが、「離れるまでは見えなかった、うちの家族の長所あれこれ」が今の僕の原動力です。

ただそれが、毎日近くにいると見失いやすいもので、一緒に暮らしていると忘れてしまいますよね。そんな時は、日常生活の中で家族の大切さを考える時間を、少しでもいいので作ることをお勧めします。例えば、お昼休みや酒席の合間などの、ふとしたリラックスタイムに、「今みんな何してるかな？」「もう寝たかな？」などと、他愛もないことで家族を思うだけでも、だいぶ違うんですよ。

ご家族と離れて暮らしている方なら、小さいお子さんと一緒に歩くときに手を繋ぐとか、寝る前に本を読んであげるとか、奥さんと世間話をするとか、そんな些細なことでも心って繋がるんだなあ…と。これが2年間の帯広単身赴任生活で学んだことでした。

また、家族の幸せや健康はもちろんですが、自分自身の健康に気を使うことも大切だと思います。特に心の健康は体にダイレクトに影響しますので、自分なりのリフレッシュ方法を見つけることは重要です。心の元気を保つ方法は人それぞれだと思いますが、「プライベートの時間にストレスを持ち込まず、楽しい時間を100%楽しみつくす！」これが何よりだと思います。意外と難しいんですけど、挑戦する価値はあると思います！



今野　くる美　さん

仕事の内容、やりがい

自宅と実家で主宰しているピアノ教室、音大付属の音楽教室、短大の非常勤講師としてピアノを教えています。演奏家としての活動もしています。

音楽を通じて小さなお子さんからご高齢の方まで幅広い世代の方との関わりを持てる事がこの仕事の魅力です。ピアノの音を聴くとその日の生徒さんの体調や気分が分かってしまうこともあったりします。常に変化があるので毎回新鮮な気持ちで仕事ができます。レッスンに通ってくれている生徒さんの成長を我が子のように見守り、喜びを感じることが出来ますし、ピアノを辞めたあとも近況報告をしてくれたり、会いに来てくれたりしてくれる時はとても嬉しいです。音楽は心の癒しや心の栄養にもなります。自分の演奏を通じて、お客様の笑顔を見れたり、温かいお言葉をかけていただいた時にはピアノを弾いていて良かったと大きなやりがいを感じます。

大変だと感じる時

基本的に一人で動いている仕事なので、息子が体調を崩したりすると大変です。これまでも大きな演奏会の本番前日から高熱が…ということもありました。具合が悪く心細い中、側にいてあげられない事に心が痛みました。また、毎日の仕事場所と時間が変則なので、生活のリズムをキープするのが難しいです。息子もまだ小さいですから、少しでも規則正しい生活が送れるようにしてあげたいので、仕事の調整も毎回気を使います。

喜びを感じる時

喜びは家庭でも、仕事でもたくさんありますが、家族で楽しく遊んだり、おしゃべりしたり、笑顔でいる時が一番の喜びです！男の子なのでいつまで言ってくれるか分かりませんが「ママ大好き！！」と言ってもらえる時も喜びです（笑）



ある一日のスケジュール

6:00	8:50	12:00	14:00	17:30	18:30	19:30	23:00
起床・準備・息子をバス停に送る	短大でレッスン	移動・昼食	自宅教室でレッスン	児童館へお迎え・夕食	自宅教室でレッスン	子どもとの時間・寝かしつけ・夫に一日の報告等	就寝

毎朝、健康の為ウォーキングを兼ねて、スクールバスの停留所まで息子と歩いています。この時間の息子との会話も楽しんでいます。夫が単身赴任しているので、夜に電話で一日の出来事を伝えたりしています。疲れているときは、無理しないで息子と早くに寝てしまいます。

プライベートの過ごし方

家族でお休みの時は、外に出かけることが多いです。キャンプも毎年行きますし、家族全員温泉好きなので温泉巡りもします。家族3人でキャッチボールも休日の楽しみです。

一人のお休みがあるときは、たまっていた家事をしたり、友達に会ったりします。一人でふらっとドライブに行ったりすることもあります。

仕事と家庭生活の両立で工夫していること

家事では、やはり毎日の食事の準備が大変ですが、一週間分のメニューを大まかに考え、買い物もまとめる事が多いです。仕事から帰ってきてすぐに食事が出来るように、朝食と一緒に夕食の下ごしらえや、出来るときは調理もしてしまいます。おかずを多めに作り次の日は味を変えたり、違う野菜をプラスしたりしてリメイクするなど工夫して、忙しくても手作りの料理を心がけ食育を大事にしています。でも、すべての家事を毎日完璧には出来ないのだから出来る時にまとめてやる、頑張りすぎないようにしています。夫にも協力してもらいます。演奏の仕事が多いときは、練習時間の確保に苦労しますが、ちょっとした合間にもピアノに向かい集中して練習するようにしています。家事でも仕事でも、「今何をする」を明確に考えて取り組むようにしてから時間を有効に使えるようになってきました。

旦那様からのコメント

単身赴任なので、自分がないときはひとりで1番手のかかる時期の息子をしっかりと育ててくれて、育児に対して一切手を抜かない姿勢を尊敬しています。例えば、叱り方ひとつでも「今日の言い方は良くなかったよね」などと、答えのない育児について真剣に話し合うことができる関係はとても良いことだと思っています。

同じような立場の女性へのメッセージ

仕事や生活をしていく上で少なからず、不安や、心配事はあると思います。でも、周りには支えてくれる人が必ずいるものです。一人で抱え込まないで言葉にして伝えることは大事だと思います。家族でも分かってもらえていると思っていたことが以外に気付いてもらえてない事もあるんですよ。

それから、私は仕事や生活の両立をしなければとあまり考えすぎないようにしました。例えば木に例えると何本もの木を立派に育てようとしなくていいのです。仕事も生活も育児もすべて1本の木にまとめて考え、幹（自分）を軸にして仕事や生活、育児の枝葉を広げていけばいいのです。時には枝葉が少し折れたり枯れたりすることもあるけれど、新しい芽も出る、ゆっくりと育っていけばいいのだと思うと気持ちが軽くなる気がします。それぞれの家庭で素敵な木が育っていくと良いですね！

